

相産だより

誠実 創造 努力



第3学期始業式

1月8日（木）、第3学期始業式が行われました。新しい年を迎える生徒たちの表情には、新鮮な息吹を感じられます。校長先生から、今年の目標として二つの漢字が示されました。「午」と「拓」。今年は午年、馬のように力強く前に進み、粘り強く努力すること。そして仲間と歩調を合わせ、協力していくこと。「拓」は道を切り開くこと、それが夢と希望を持ち、目標を持って自分の可能性を切り開いていくことの大切さを述べました。また3学期は、一年の締めくくりと、次への準備の時間です。あせらず、自分のペースで歩んでいく大切さを伝えました。

阪神・淡路大震災(1.17)追悼行事

1月16日（金）朝8時半から、平成7年1月17日に発生した、阪神・淡路大震災についての追悼行事を行いました。校長先生から講話があり、その後、全員で黙とうをしました。発生から31年がたちますが、命を奪われた悲しみ、無念、残された人たちの喪失感と後悔は、決して消えることはありません。

自然災害は避けることはできませんが、防災に備えることは重要です。「自分の身は自分で守る」、命の重みを認識し、一人ひとりが責任を持つことが、家族や他人みんなの命が助かるにつながります。私たちに与えられた尊い命です。自分の命は自分自身が責任を持って守りましょう。

2年生修学旅行(北海道)

1月28日（水）～1月31日（土）、2年生の修学旅行が実施されました。行先は北海道（札幌・富良野）です。28日朝、姫路駅のバス乗り場で見送りの先生たちに手を振られ、生徒たちは姫路を後にし、伊丹空港と神戸空港に向かいました。昼前に新千歳空港に到着、その後富良野のホテルに向かい、その日は翌日のスキー実習の準備を行いました。2日目と3日目は、班ごとに分かれスキーとスノーボードの実習、希望者はナイターにも参加しました。主にスキー実習の毎日でしたが、白く大きなゲレンデで、滑って、転んで、仲間に手を貸してもらい起き上がり、はしゃいで、笑った充実した時間でした。最終日は朝から大荷物の積み込み、その後、札幌から新千歳空港へと、往きとは逆の経路を戻りました。17時50分、ANA780便は、4日間のぎっしり詰まった思い出と一緒に乗せて、新千歳空港を飛び立ちました。



家を離れ、仲間と寝食を共にする集団行動は、多くの得るものがあったと思います。

Seeing is believing (百聞は一見に如かず) と言います。頭で想像したり、考えるだけでなく、実際に見たり聞いたりすることで、血となり、肉となり人間の幅が広がっていきます。この修学旅行で、みなさんはひとまわり大きくなつて帰ってきたと思います。またこの貴重な経験が、将来への新たな道筋を与えてくれるでしょう。

